

令和4年11月30日

長野大学次期学長予定者の選考結果について

長野大学学長選考会議

長野大学の現学長の任期が令和5年3月31日をもって満了するため、長野大学学長選考会議において、下記のとおり次期学長予定者を選考しましたので、長野大学学長選考規程第9条の規定に基づき公表します。なお、学長の任命は、令和5年4月1日付けで公立大学法人長野大学理事長が行います。

記

1 次期学長予定者として選考された者

氏名 小林 淳一（74歳）
現職 公立大学法人秋田県立大学理事長兼学長
略歴 別紙1のとおり

2 任期

令和5年4月1日から令和9年3月31日まで（4年間）

3 選考理由

次期学長の選考にあたっては、学長選考会議で定めた選考基準に照らし、所信表明書、履歴書による書類審査に加え、候補者へのヒアリング審査を行った。

小林淳一氏は、平成23年度から公立大学法人秋田県立大学の理事兼副学長を務め、平成29年度からは理事長兼学長として大学運営の中心的役割を担った経験と実績を有しており、民間企業での勤務経験も豊富で幅広い視野と国際感覚を備えている。組織運営についても、大学ガバナンス改革を推進してきた経験と実績を有している。本学での勤務は未経験であるが、ヒアリング審査において、教職員との対話を踏まえて大学の状況を確認し、学長として意思決定を行っていくとの意向が示されており、学内を統率するリーダーシップに加え、優れたコミュニケーション能力によるバランスのとれたガバナンス体制の構築に期待ができる。

また、中期目標・中期計画の目的や意義を十分に理解しており、国や自治体の施策にも精通していることから、上田市との良好な連携協力関係を構築し、第2期中期計画を着実に推進していく実行力、調整力があると判断した。理工系学部の新設に向けても、既存学部との連携を提案するなど意欲を示している。

さらに、これまで産業界との連携を推進してきた経験から、地元産業界とのネットワークを構築し、地域・行政と繋げるなど産学官連携の発展が期待できる。特に自身の専門分野を活かした工業系企業との連携協力関係の推進は、本学の将来構想とあわせて、

新たな地域貢献の可能性を拓げるものである。

以上のことから、小林氏が選考基準に明示された学長の資質・能力を備え、次期学長に最も相応しい人物であると判断した。

4 選考経過

令和4年 5月 27日	第1回学長選考会議	議長選出、選考基準の検討
6月 30日	第2回学長選考会議	選考基準、選考方法、選考日程等の決定
7月 20日	学長選考に関する公示	
9月 14日～9月 21日	学長候補者の推薦受付 期間内に2名の推薦あり	
10月 3日	第3回学長選考会議	推薦された2名を学長候補者として決定 候補者複数のため意向投票の実施を決定
10月 5日	意向投票実施委員会の設置	
10月 19日	学長候補者による所信表明会の開催	
10月 26日	意向投票の実施	
11月 4日	第4回学長選考会議	学長候補者へのヒアリング
11月 14日	第5回学長選考会議	次期学長予定者の決定 理事長に選考結果報告

【別紙 1】

略 歴

○氏 名 小林 淳一（こばやし じゅんいち）

○生年月日 昭和 23 年 9 月 23 日 (74 歳)

○取得学位 工学博士（東北大学）



○学 歴 昭和 46 年 3 月 東北大学工学部機械工学科卒業
昭和 48 年 3 月 東北大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了
昭和 51 年 3 月 東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了

○主な職歴 昭和 51 年 10 月 株式会社日立製作所 入社 機械研究所に勤務
平成 6 年 2 月 同 機械研究所 第 1 部 部長
平成 17 年 4 月 同 研究開発本部 ソリューションセンター長
平成 19 年 4 月 公立大学法人秋田県立大学
システム科学技術学部 教授
平成 23 年 4 月 同 理事兼副学長
平成 29 年 4 月 同 理事長兼学長（現在に至る）